

## 得点記録について

- ① 矢を所有する選手の指差し呼称にしたがい、スコアラーは高い得点順にスコアカードに記入する。  
その標的の他の選手は、呼称確認・端末入力を行う。(インナー10 はアルファベットの「X」を、0 点はアルファベットの「M」を記入・入力する。)
- ② 矢の所有者および同一標的を使用する他の選手が、それぞれを分担して得点確認を行い、確実に実施するものとする。
- ③ 各選手はスコアカードと携帯端末の得点が合っていることを確認後、携帯端末から送信する。
- ④ 選手自身が関与する得点記録業務の内容は、他の選手の得点記録や順位に関する権利にも影響を及ぼす。それぞれが下記の順序のとおり分担業務を確実に行うこと。役割等を拒んだ場合は競技会への参加権利を失うものとする。虚偽が発生した場合は、当該選手または同一標的選手全員を失格とすることもある。

< 1 的 3 人 >

順序	得点記録の順序／業務分担	選手 A	選手 B	選手 C
1	A の得点記録	得点呼称 記入・入力確認	復唱 スコアラー	的中確認 端末入力
2	B の得点記録	的中確認 端末入力	得点呼称 記入・入力確認	復唱 スコアラー
3	C の得点記録	復唱 スコアラー	的中確認 端末入力	得点呼称 記入・入力確認
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤記の無いよう確認をしっかりと行うこと。</li> <li>・スコアカードの間違いを防ぐため、記録する選手の名前を呼んでから記録する。</li> <li>・得点呼称された得点を記入・入力する際は、<u>得点を「復唱」</u>する。</li> <li>・標的面の的中孔の全てに、<u>L 字でチェック</u>する。</li> <li>・矢取りに関しては、矢の管理の観点から、<u>自分の矢は自分で抜く</u>ことを基本とする。</li> </ul>			

< 1 的 2 人の場合 >

順序	得点記録の順序／業務分担	選手 A	選手 B
1	A の得点記録	得点呼称 端末入力	復唱 スコアラー
2	B の得点記録	復唱 スコアラー	得点呼称 端末入力
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤記の無いよう確認をしっかりと行うこと。</li> <li>・スコアカードの間違いを防ぐため、記録する選手の名前を呼んでから記録する。</li> <li>・得点呼称された得点を記入・入力する際は、<u>得点を「復唱」</u>する。</li> <li>・標的面の的中孔の全てに、<u>L 字でチェック</u>する。</li> <li>・矢取りに関しては、矢の管理の観点から、<u>自分の矢は自分で抜く</u>ことを基本とする。</li> </ul>		

<個人決勝ラウンド>

順序	得点記録の順序／業務分担	(左立ち)	(右立ち)
1	(左立ち) の得点記録	得点呼称 端末入力	復唱 スコアラー
2	(右立ち) の得点記録	復唱 スコアラー	得点呼称 端末入力
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誤記の無いよう確認をしっかりと行うこと。</li> <li>・ スコアカードの間違いを防ぐため、記録する選手の名前を呼んでから記録する。</li> <li>・ 得点呼称された得点を記入・入力する際は、<u>得点を「復唱」</u>する。</li> <li>・ 標的面の的中孔の全てに、<u>L字でチェック</u>する。</li> <li>・ 矢取りに関しては、矢の管理の観点から、<u>自分の矢は自分で抜くことを基本とする</u>。</li> </ul> <p>※個人決勝立ち位置は、決勝トーナメント参照</p>		

- ⑤ 得点記録(的中点数の判読・記載得点の復唱・誤記入等)に関し、異議があれば直ちに審判員の判定、訂正確認を求めることができる。
- ⑥ 的中点数の判定について、選手は次のとおり疑義を申し立てる権利がある。
  - ア) 得点の判読に対する自己確認または同一標的を使用する選手それぞれの立場で疑義が生じた場合、いずれから審判員の判定を求めることができる。
  - イ) 審判員により得点の判読が行われ、これが最終判定となる。
- ⑦ 選手は競技終了後、サイン（競技者、記録者）、合計点、10点数、X数を全て記入したスコアカードを提出しなければならない。主催者が間違いを発見した場合、その間違いは訂正され、その結果は有効とする。※スコアカードの未記入については、無いものと判断され「0」と取り扱う場合がある。また、サインの無いスコアカードについては、失格となる場合がある。
- ⑦ 個人戦決勝ラウンドの全ての対戦のスコアカードへの記入及びスコアボードへのポイント表示は選手が行う。
- ⑧ 同一標的選手全員の得点記録業務が完了し、得点記入が終わったことを選手全員が確認するまで矢・標的面・標的支持枠等に一切触れてはならない。
- ⑨ スコアカードに記載された得点の訂正は、2本線で該当矢のみの訂正を行い、その的の選手全員がサインする。